

短期計画の検証

エリア名	工区NO	工区名	短期					検証・課題
			2018 平成30年	2019 平成31年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	
竹の丸エリア	2	馬具櫓		解体設計		建物解体保存工事 石垣測量	石垣測量 崩落石回収工事	・建物解体保存に早期着手
	3	長堀	石垣測量 遺構確認調査	堀復旧工事				・堀基礎全長にわたる発掘調査のため復旧工事の着手遅れも概ね予定通り完了
	5	平御櫓						・石垣応急対策完了
	8	竹の丸五階櫓跡				石垣測量 崩落石回収工事		・崩落石材回収に早期着手
飯田丸エリア	10	飯田丸五階櫓	建物解体保存工事	石垣修理方針検討 石垣解体工事 解体調査		建物組立設計 石垣修理工事		・石垣の補強工法の検討及びその効果の検証に時間を要した
	13	十四間櫓他重文	石垣測量・地質調査・石垣解析	耐震診断・補強案策定		解体設計・耐震補強・組立設計		・石垣の安全性検証、建物の耐震診断、補強設計に時間を要した
	16	東十八間櫓他重文	石垣測量・地質調査	耐震診断・補強案策定		石垣解体・修理設計		・石垣の耐震診断、補強検討、石材照合に時間を要している
	18	平櫓	石垣測量 耐震診断 石垣安全対策	建物解体保存工事 石垣解体・修理設計 遺構確認調査		石垣修理変更設計 石垣解体工事 解体調査		・石垣の修理方針検討、建物解体後の発掘調査、石垣耐震診断、補強検討に時間を要している
	19	石門					石垣測量 崩落石回収工事	・崩落石材回収に早期着手
	17	不開門	石垣測量 崩落石回収工事	耐震診断・補強案策定				・倒壊建物、崩落石材の回収完了 ・建物の耐震診断及び補強案策定完了

<短期計画の検証(竹の丸エリア・飯田丸エリア)>

凡 例

計画

実績

前提措置（安全対策等）

復旧工事（調査・研究・設計含む）

建物の調査・設計

建物の復旧工事

石垣の調査・設計

石垣の復旧工事

遺構発掘調査

資料3にて詳細説明

議事3)石垣・建造物等の復旧に関する検証及び課題の整理で説明

2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証

短期計画の検証

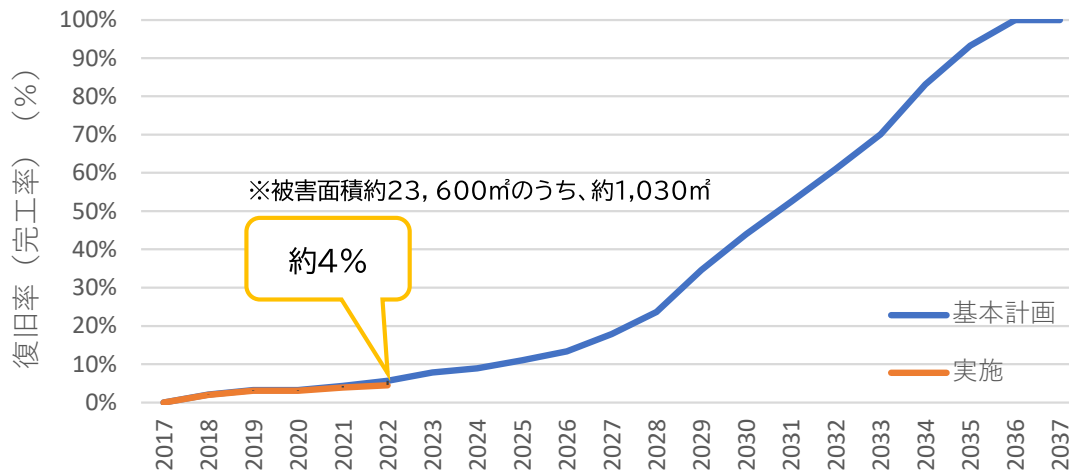
エリア名	工区NO	工区名	短期					検証・課題
			2018 平成30年	2019 平成31年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	
天守閣エリア	26	天守閣	石垣解体・修理設計 石垣解体・修理工事	工事(躯体復旧・外装復旧・耐震補強内装・展示)				・石垣の復旧方法の検討に時間を要したが予定通り復旧完了
	29	宇土櫓	建物調査・耐震診断 石垣測量	仮設設計・仮設設計 石垣修理方針検討		仮設構台変更設計(五階櫓部分) 石垣解体・修理設計(続櫓)	仮設構台・素屋	・石垣の復旧方針の検討に時間を要している
	20	長局櫓	石垣測量	石垣修理方針検討		石垣解体・修理設計	石垣解体・修理設計	・石垣復旧設計に時間を要している
	24	数寄屋丸北					解体設計	・建物解体設計に着手
	21	本丸御殿(北東部)	被害状況調査 石垣測量	石垣修理方針検討		石垣解体・修理設計	石垣解体・修理設計	・石垣復旧設計に時間を要している
	73	仮設スロープ						・平成28年に工事用車両の主要な通路として設置 ・現在は来城者ルートとしても活用
	25	頬当御門						・崩落石材回収完了
本丸北エリア	30	天守北空堀					石垣測量 崩落石回収工事	・崩落石材回収に早期着手
その他エリア	44	監物櫓	石垣測量 建物解体保存工事	耐震補強・組立設計 石垣解体・修理設計	遺構確認調査	建物復旧工事 石垣修理変更設計 石垣解体・修理工事 解体調査		・予定通り復旧中
	37	南大手門		解体設計			解体設計	・建物の解体設計に早期着手
	33	戌亥櫓				石垣測量 建物解体保存工事	石垣測量 崩落石回収工事	・建物解体保存に早期着手
	36	奉行丸		崩壊体保存工事 石垣測量 崩落石回収工事				・崩落石材回収に早期着手
	34	西出丸堀		解体設計		建物解体保存工事 石垣測量	崩落石回収工事	・建物解体保存に早期着手
	35	西大手門	建物解体保存工事	石垣測量 崩落石回収工事				・建物解体保存、崩落石材回収完了

<短期計画の検証(天守閣エリア・本丸北エリア・その他エリア)>

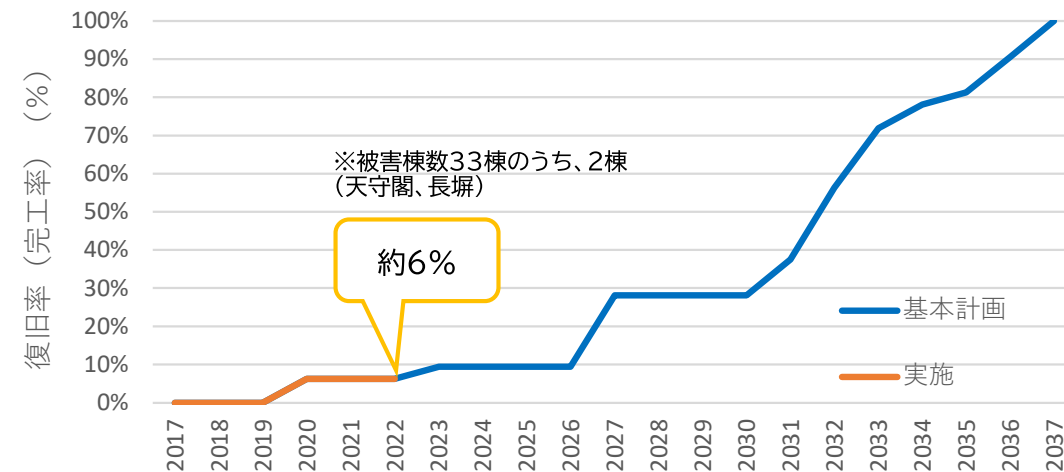
資料3にて詳細説明

議事3)石垣・建造物等の復旧に関する
検証及び課題の整理で説明

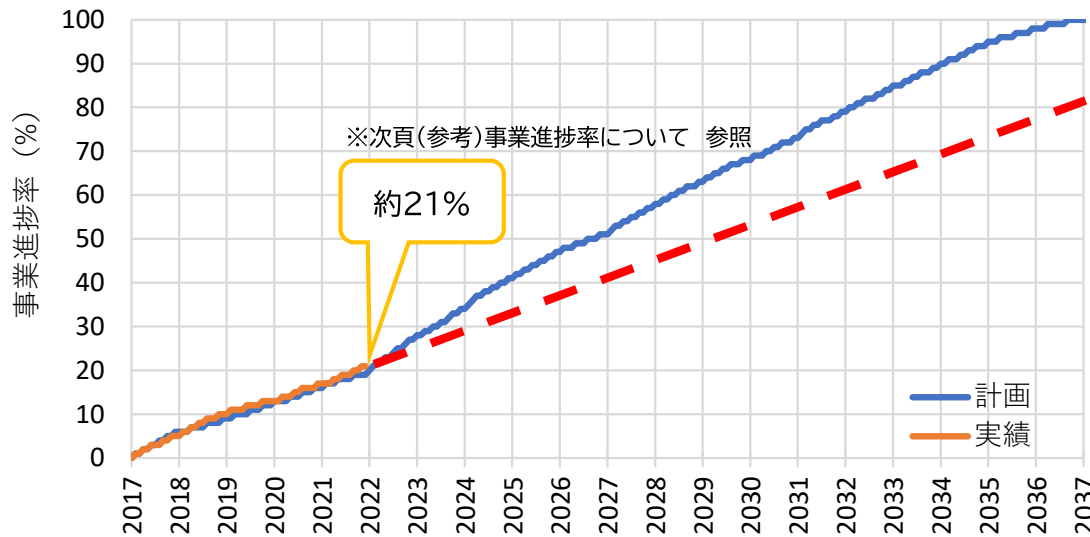
2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証



<石垣の復旧率(完工率)>



<建造物の復旧率(完工率)>



<事業進捗率>

復旧率(完工率) : 完全に復旧完了したものの割合
 石垣 = 面積
 建造物 = 棟数

事業進捗率 : 復旧に至るそれぞれの標準工程の進捗を全ての工区で算定したもの

現在は主に復旧工事に至るまでの調査、設計を行っている段階

(参考)事業進捗率について

事業進捗率:熊本城全体の復旧に至るまでに必要な全体の事業(測量・調査・設計・工事・工事監理など)の進み具合を示したものの。

資料2-1 P3 は計画策定時想定 of 総事業量に対する予定進捗率と、現在想定している総事業量に対して実際に進捗した割合を対比したもの。

現時点の進捗率(21%)とは、現在想定している総事業量(総月数=約5,700カ月)に対し、令和3年度末(2022年3月末)までに実施した事業量(合計月数=約1,200カ月)の割合を示している。

	短 期					中 期	
工区名	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	...	2037 令和19年
長堀							
平櫓							
天守閣							
監物櫓							
工数(月数)の合計	308	292	158	205	251	...	38
工数(月数)の累計	308	600	758	963	1,214	...	5,686

<事業量(月数)>

※今後の事業進捗に伴い、個別の石垣や櫓の検討内容・検討期間が変動する場合がある。

その場合は、総事業量変動するため、令和3年度末時点の事業進捗率(約21%)を修正する。